

海外認証取得に向けた支援サービス

海外認証取得までの
ステップ

情報収集

制度の確認

認証機関にて試験

海外認証取得

都産技研MTEP活用メニュー

無料 海外の法規制に関する解説テキストの提供

国別規格シリーズ（米国・中国・台湾・韓国）*1

有料 海外の法規制に関するセミナー



解説テキストのご案内

無料 海外規格*2閲覧サービス

無料 MTEP相談

専門相談員が海外認証取得に関する技術相談に対応します。



都産技研マスコットキャラクターリン®

主要な海外認証マーク

アメリカ UL, FDA, ANSI, FCC		カナダ CSA	
中国 CCC	台湾 BSMI	韓国 KCマーク	日本 PSE

*1：ウェブブック版による閲覧となります。冊子の配布は行っておりません。

*2：日本規格協会のWebサーバーから規格（ISO, IEC, JIS）を検索できます。
（一部の規格書はテキストにて保有）※予約制



MTEPでは、海外認証取得のための支援を実施しています。海外規格の閲覧による情報収集や各国の海外規制に精通した専門相談員との技術相談を無料でご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。

MTEP相談予約方法

右のQRコードから「MTEP相談ご予約の流れ」をお読みいただき、MTEP相談フォームに相談内容をご記入ください。



MTEP相談ご予約の流れ

国際規格と海外の安全認証について

国際規格

IEC 国際電気標準会議 電気電子分野

電気および電子の技術分野における国際標準機関（非政府間組織）で、電気・電子関連用語、量、および単位、記号、略号、図記号などの統一や、電気材料の電気特性の研究を含む電気機器の標準化を行っている機関
※「IEC規格」はIECが制定した国際規格

ISO 国際標準化機構 その他の分野

電気・電子分野を除く、あらゆる分野の標準化を推進する非政府間の国際機関
※「ISO規格」はISOが制定した国際規格

海外の安全認証の例

■アメリカ

UL Underwriters Laboratories: アメリカ保険業者安全試験所（民間の認証機関）

- ✓ 「UL規格」はアメリカ保険業者安全試験所が策定した製品安全規格である
- ✓ 任意の認証制度であるが、日本から輸出する場合の多くはUL認証を取得している
- ✓ 最終製品に対する認証（Listing認証）と部品に対する認証（Recognition認証）がある



FCC Federal Communication Commission: アメリカ連邦通信委員会（連邦政府機関）

- ✓ FCCは通信や電波の利用を管理し、周波数の割り当てを行っている独立した米国政府機関であり、
- ✓ 市場に出荷される機器が技術要求事項に適合するよう認証する制度を管理している
- ✓ 米国での無線機器等の販売には、FCC認証が必要



■カナダ

CSA Canadian Standard Association: カナダ規格協会

- ✓ 「CSA規格」はカナダにおける電気製品・医療機器・機械・器具などに関する安全規格である
- ✓ 米国ULと相互承認協定（MRA）を締結しており、米国では「ULと同等の基準を満たす適合品」の位置付けになる



■中国

CCC China Compulsory Certification: 中国強制認証制度

- ✓ 安全とEMCの適合証明制度で電気電子製品、自動車および関連部品、農業機器などの500品目以上が対象となっている



■韓国

KC Korea Certification Mark: 韓国国家統合認証マーク

- ✓ 電気用品安全認証のほか、工産品安全認証、工産品自律安全確認、子供を保護するための容器、エレベータ部品認証、高圧ガス容器点検、計器検定、エネルギー消費効率等級、放送通信機器、浄水器品質検査、消防用品などの認証マークである



■台湾

BSMI Bureau of Standards, Metrology and Inspection: 基準検査局

- ✓ BSMIは台湾の国家標準規格の編集および計画を行う部門である
- ✓ BSMIの所轄業務に台湾の商品検査法に基づいた安全規制および商品電磁環境適合性取締規則に基づいた電磁気環境性適合性規制（EMC規制）がある

